経営比較分析表（令和6年度決算）

熊本県水俣市　国保水俣市立総合医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※１**	**指定病院の状況　※２**
直営	20	対象	ド 透 訓	救 臨 感 災 地 輪
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**不採算地区中核病院**	**看護配置**
21,639	29,327	－	第２種該当	１０：１

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
345	－	－
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
－	4	349
最大使用病床（一般）	**最大使用病床（療養）**	**最大使用病床（一般＋療養）**
260	－	260

※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ 未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療

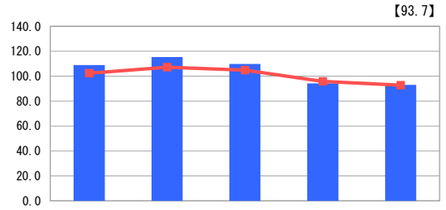
※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

グラフ凡例
- ■　当該病院値（当該値）
- ー　類似病院平均値（平均値）
- 【】　令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

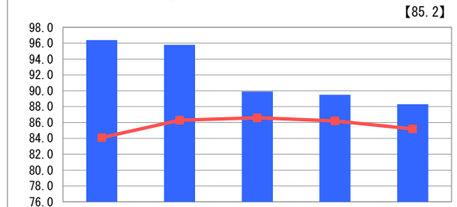
【93.7】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	108.9	115.4	109.8	94.2	93.1
平均値	102.4	107.2	104.8	95.8	92.8

②医業収支比率(%)

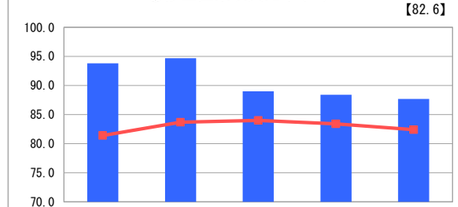
【85.2】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	96.4	95.8	89.9	89.5	88.3
平均値	84.1	86.3	86.6	86.2	85.2

③修正医業収支比率(%)

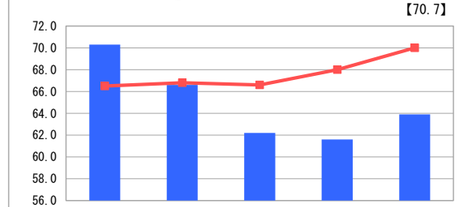
【82.6】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	93.8	94.7	89.0	88.4	87.7
平均値	81.4	83.7	84.0	83.4	82.4

④病床利用率(%)

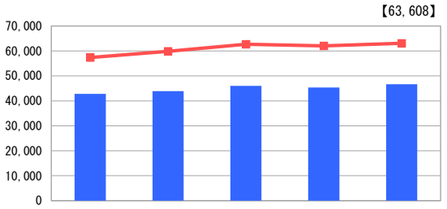
【70.7】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	70.3	66.6	62.2	61.6	63.9
平均値	66.5	66.8	66.6	68.0	70.0

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

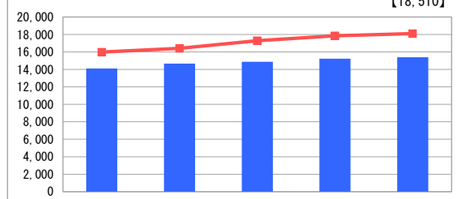
【63,608】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	42,802	43,880	45,983	45,340	46,655
平均値	57,368	59,838	62,697	62,059	63,076

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

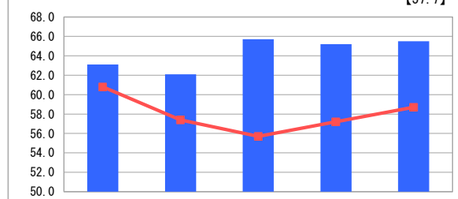
【18,510】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	14,113	14,657	14,873	15,228	15,391
平均値	15,986	16,421	17,279	17,851	18,102

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

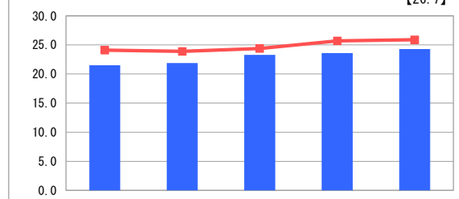
【57.7】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	63.1	62.1	65.7	65.2	65.5
平均値	60.8	57.4	55.7	57.2	58.7

⑧材料費対医業収益比率(%)

【26.7】

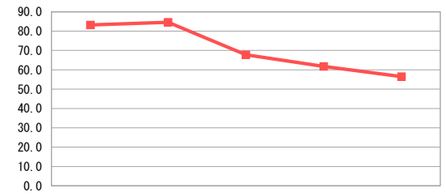


	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	21.5	21.9	23.3	23.6	24.3
平均値	24.1	23.9	24.4	25.7	25.9

2. 老朽化の状況

⑨累積欠損金比率(%)

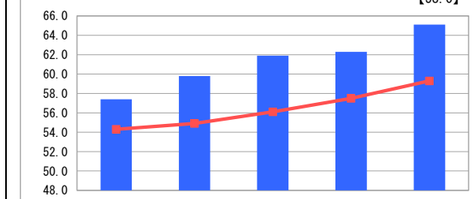
【54.3】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均値	83.2	84.6	67.8	61.8	56.5

①有形固定資産減価償却率(%)

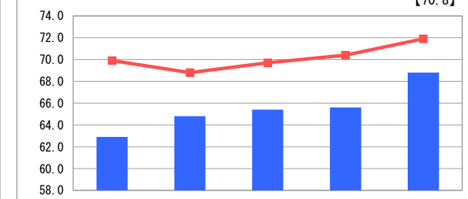
【58.0】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	57.4	59.8	61.9	62.3	65.1
平均値	54.3	54.9	56.1	57.5	59.3

②器械備品減価償却率(%)

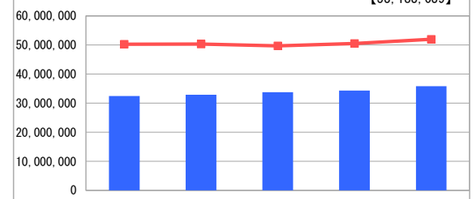
【70.8】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	62.9	64.8	65.4	65.6	68.8
平均値	69.9	68.8	69.7	70.4	71.9

③１床当たり有形固定資産(円)

【53,183,039】



	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	32,433,175	32,904,662	33,733,183	34,324,975	35,846,261
平均値	50,234,873	50,294,422	49,693,831	50,513,249	51,975,936

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化（従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
－ 年度	－ 年度	－ 年度

Ⅰ 地域において担っている役割

①過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に規定する過疎地域に立地しており、一般医療の提供を行っている。また中山間地域のへき地診療所(附属久木野診療所)も運営している。
②24時間365日の救急医療、小児・周産期医療の提供、災害拠点病院、第二種感染症指定医療機関（新興感染症受入医療機関）としての運営を行っている。
③高額医療機器の整備を計画的に行い高度医療の提供に努めている。
④地域医療支援病院の承認を受けており、地域の医療従事者の教育研修の拠点としての役割がある。

Ⅱ 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

医業収益の増収とともに事業収益も増加したが、人件費や物価等の上昇により、給与費及び材料費等の医療費用が増加し、事業費用が事業収益の増加を上回った。
そのため、①経常収支比率、②医業収支比率、③修正医業収支比率の各指標について、類似病院平均値よりポイントは上回っているものの、令和５年度よりもポイントを下げた。
類似病院平均値を下回っているが、④病床利用率、⑤入院患者１人１日当たり収益(円)、⑥外来患者１人１日当たり収益(円)の各指標は前年度を上回り、医業収益は増加した。しかし、職員給与費、材料費も増加したため、それぞれ対医業収益比率は前年度を下回った。⑦職員給与費対医業収益比率については、平均値より6.8ポイント上回っている。なお、前年度までに引き続き、累積欠損金は発生していない。

2. 老朽化の状況について

これまで、経営状況を見ながら計画的な更新投資を行ってきており、それが各指標に表れているものと考えているが、施設の老朽化が進んでおり、①有形固定資産減価償却率は類似病院平均値を上回っている。
施設設備や低年式となった器械備品の更新について、経営状況も踏まえたうえで、計画的な設備投資を継続していきたい。

全体総括

当院が位置する医療圏の人口減少は避けられない状況にある中で、大幅な患者数の増加は見込めないものと考えているが、当院の医療機能に対し、周辺の他医療圏からのニーズもあるため、連携を図りながら集患につなげていく。
診療報酬制度へ適切に対応し、新たな施設基準の取得や医療の質を高める取組み、病床利用の効率化を図り収益性を高めていくことにより医業収益を確保する。また、人件費や光熱水費、物価等の上昇により全般的に費用も増加しているため、業務の効率化や集約化により費用の抑制に努めていきたい。
経営環境は厳しいが、健全経営を確保していくことで、救急医療等の地域において求められている役割の維持、継続を図っていきたい。